# 大谷學報

第十七卷　第二號

昭和十一年六月十日發行

三河國に於ける眞宗教團の發展（上）　日下無倫　（一）
大乘莊嚴經論菩提品の基く諸經に就て　西尾京雄　（三七）
「便同彌勒」と「與如來等」に就いて　稻葉秀賢　（七一）
唯識說に於ける識所依 ――特に護法について――　富貴原章信　（九三）
三業惑亂史上に於ける寶嚴の地位と講師深勵の苦闘　桑谷觀宇　（一二四）
三國時代喪葬禮俗私考　上村幸次　（一三七）
上杉文秀 花山大安 講師を偲ぶ……………（一四九―一八〇）
略年譜
思ひ出づることゞも　住田智見
上杉先生を追憶して　大須賀秀道
上杉先生の憶ひ出　日下無倫
略年譜及遺著目錄
花山講師の追憶　本多主馬
佛聲院大安講師を追懷して　松原恭讓
佛聲院大安先生を憶ふ　可西大秀
新刊紹介（一八二）研究室彙報（一九二）昭和十一年度學部開講學科目及講義題目（一九六）昭和十年度大谷大學々部卒業生氏名卒業論文題目（二〇〇）大谷學報第十六卷總目次（卷末）

大谷大學
大谷學會

# 大谷學會々則

第一條　本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學內ニ置ク。

第二條　本會ハ佛教學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。

第三條　本會ノ會員ハ大谷大學教職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ贊同スル者ヲ以テ組織ス。

第四條　本會ハ左ノ事業ヲ行フ。

一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。

二、每年春秋二回公開講演會ヲ開ク。

三、隨時圖書ヲ出版ス。

第五條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク。

一、會長　一名

二、理事　二名

三、委員　若干名

第六條　役員ノ職責左ノ如シ。

一、會長ハ本會ヲ代表シ、委員會ヲ總理ス。

二、理事ハ會長ヲ補佐ス。

三、委員ハ庶務、編纂、會計ノ事務ヲ分擔ス

第七條　役員ノ任期左ノ如シ。

一、會長ハ大谷大學々長ヲ以テ任ズ。

二、理事ハ大谷大學學監ヲ以テ任ズ。

三、委員ハ會長ノ指名トシ、任期ハ二年トス。

第八條　會員ハ雜誌『大谷學報』ノ配布ヲ受ケ本會主催ノ會合ニ出席スルコトヲ得。

第九條　會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。

第十條　本則ハ委員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ズ。

附則

一、本會ハ佛教研究會ヲ繼承ス。

二、本會ハ本學ニ於ケル佛教學、哲學、人文學各研究室所屬ノ研究會ヲ統合スルモノトス。

三、本則ハ昭和三年一月ヨリ實施ス。　以上

# 大谷學會役員

會長　河野法雲

理事　朽木廣覺　細川憲壽

庶務委員　阿部現亮　松谷彰乘

編纂委員　大須賀秀道　小島惠見　安井廣度
鈴木弘　山口益　德重淺吉
浦川源吾　大庭米治郎　鈴鹿三七
石塚達雄　龍山章眞　横川顯正
正木淨教　雨宮尚治　野上俊靜
上村幸次　松谷彰乘

會計委員　吉田嘉一郎

故　上杉文秀師

故　花山大安師

## 編輯後記

本號の論文は、すべて前任釜田弘文氏の遺産を踏襲した。日下先生には、特に無理をいつて、寄稿を願つたことは、まことに恐縮である。

×

今年に入つて、大谷派宗學界は、相次いで二講師を喪つた。上杉講師は前學長として、花山講師は教授として、ともに本學並びに大谷學會にとつては、惜しみても餘りある方々である。

×

茲に、さゝやかながら、御學績を偲ぶよすがとして、追悼號を出すことゝした。まことに匆急の計畫であつたので、諸先生には非常な御迷惑をかけた。

×

それにも拘らず、快く追憶の筆を執られた、六先生に對し、また本號の成るについて、特に指揮を乞ふた日下先生に對して、あつく御禮を申上げなければならない。

×

上杉講師の略年譜に就いては、御令嗣慧岳先生を煩はした。御郷里にあつて、法務御多忙の中を、執擁な編輯子の乞を容れて、急遽御送附願つたものである。

×

何分新任早々のため、手際よく蒐め得なかつたことは、まことに申譯がない。しかし乍ら、本誌が單に學報であるだけに止らず、本學に於ける、一の歷史的所產としての役割を持つために、微力を盡したことは、買つていたゞけると思ふ。

×

月並な言葉乍ら、諸先生の御示教を俟つて、邁進して行きたい。

（松谷生）


**大谷學報**

年四回發行

一月・四月・七月・十月

| | |
|---|---|
| 會費年額 | 金參圓（但前金送料共） |
| 一部賣價 普通號 | 金八拾錢（送料六錢） |
| 定價 特輯號 | 随宜申シ受ク（送料六錢） |

廣告料

| | 一頁 | 半頁 |
|---|---|---|
| 普通頁 | 貳拾圓 | 拾貳圓 |
| 表紙裏 | 參拾圓 | 拾七圓 |

昭和十一年六月五日印刷
昭和十一年六月十日發行
（第十七卷・第二號）

編輯兼發行者 大谷學會
右代表者 細川憲壽

印刷者 須磨勘兵衛
京都市北小路新町西入

印刷所 大谷大學出版部
京都市烏丸頭大谷大學内



不許複製禁轉載



發行所 京都市烏丸頭 大谷大學内 大谷學會庶務部

電話西陣一六四〇番
振替大阪六七一八五番